専門調査会の当面の調査検討方針について（案）

- 1 ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標の在り方について
社会全体で見たワーク・ライフ・バランス実現度を測るため、ワーク・ライフ・バランスに関する様々な視点からの指標を整理する。
 - ・ ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標等に関して作業グループによる検討。
 - ・ 専門調査会は作業グループからの報告を受け審議、指標の在り方について取りまとめる。

ワーク・ライフ・バランス憲章や行動指針（年内策定予定）に反映

- 2 企業・組織にとってのメリットやコストの考え方について
企業等がワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット・コストについての考え方や、代表的な例を整理し、企業等がワーク・ライフ・バランスのメリットを認識するのに資するような具体的な材料を提供する。

例えば、

- ・ W L Bに取り組むのに必要なコスト（関連する制度の導入、運用にかかるコスト等）や、W L Bが実現できないことにより従業員が辞めたり心身の健康を害したりする場合のコスト（採用や育成、メンタルヘルス対応にかかるコスト等）等にはどのようなものがあるか考え方を整理する。
- ・ 企業コストに詳しい有識者や協力企業からの情報を元に、代表的な例を整理しながら、企業にとってのメリットを検討する。